

●○○ 第 189 回あすか倶楽部 定例会 ●○○

テーマ：今 あなたに必要な金融リテラシー

(世代に応じた最低限必要なリテラシー)とは？

講師：日本証券業協会 金融・証券教育支援本部 飯島 一夫 氏

日時：2017年2月18日(土) 14:00～17:00

場所：トヨタ自動車(株)池袋アムラックスビル6階604会議室

☆概要

将来豊かで安心できる生活を送るために、現行の社会保障制度だけに頼ることは限界があります。現役時代の充実した生活の確保と老後資金の確保ため、自己資産形成に取り組むことが必要です。日本人の53%は安定性を求めて貯蓄をしています。経済社会環境は、グローバル化、少子高齢化が進み、変化への対応が必要になっています。預貯金だけで安全な資産形成は難しくなっており、リスクとリターンを考えながら預貯金と金融商品を組み合わせた資産形成が必要となってきています。

金融リテラシーとは、金融知識・金融経済事情の理解・金融商品の利用選択をする力です。

投資は個人の資産形成をして、企業に資金を調達して、国を活性化する経済活動です。生活設計に合わせて、余裕資金で行うことが必要です。

日本銀行が行った金融リテラシー調査では、学生層の正答率が低いですが、金融教育を受けた学生は、受けてない学生よりも正答率が高くなっています。日本人全体では金融教育を受けた人の割合は米国の3分の1です。

選択肢の多い若年層への教育は急務であり、熟年層にいたるまで、年齢層別に金融リテラシーを身につける時代になってきています。

☆質疑応答

Q1. 日本証券業協会の会員企業は？

A 会員：証券会社 特別会員：一部を除く投資信託を扱っている銀行

Q2. 熟年層への教育はどうしているのか。

A 日本証券業協会から無料で講師を派遣しているので、制度を利用してほしい。

Q3. 金融リテラシー調査結果はどう活用するのか

A 今後の課題

Q4. 投資コストや手数料については、契約の時に説明してくれるのか。

A 書面に記載することになっているが、疑問点は質問してから契約してほしい

☆配布資料

- ・今 あなたに必要な金融リテラシー(世代に応じた最低限必要なリテラシー)とは？レジュメ
パワーポイント資料
- ・金融リテラシー調査の概要
- ・金融リテラシーマップ
- ・資産運用と証券投資
- ・大人のためのお金と生活の知恵

所見：金融リテラシーの知識はまったくなく、会社の持株会で自社株の購入しかしていないことを反省しつつ、今後の資産形成について考える良い機会であった。

報告者 26期 大澤明美